

久喜市議会

平成25年2月定例会

議員提出議案質疑通告

平成25年3月6日（水）

質疑通告者一覧

【議員提出第5号 久喜市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例】

通告第1号	鎌田忠保	議員	1
通告第2号	猪股和雄	議員	1

議員提出第5号

久喜市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する
条例

○ 通告第1号 鎌田忠保 議員

- (1) 「合併前の久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷲宮町合併協議会で確認された調整方針を受け」とあるが、その経緯について伺う。
- (2) 「本市の現状等を総合的に判断し」とあるが、現状等についてどのように捉えているのか。
- (3) 議員定数を30とする根拠について。
 - ア 合併時における議員一人当たりの人口数。
 - イ 県内、人口10万人以上20万人未満の市の議員一人当たりの人口数。
 - ウ 全国の市区町村を人口規模や産業構造で細分化した類似団体の中で、久喜市と同じグループに属する市の平均の議員定数、および議員一人当たりの人口数。
- (4) 定数減による効果は。

○ 通告第2号 猪股和雄 議員

- (1) 定数を「30名」が適当であるとする理由を説明されたい。
- (2) 提案理由には「本市の現状等を総合的に判断し」とあるが、そこで言う「本市の現状等」とはどういう意味で、何と何を「総合的」に判断したのか。
- (3) 県内市町村の人口と議員定数の比較から、人口15万人余で「30名」というのは多すぎると考えられる。

人口20万人以下の市では最大でも26名であり、例外は合併後間もない久喜市と加須市だけである。

議員定数はある程度、人口や県内他市の状況を参考にすることが適当であると考えているが、見解を伺う。
- (4) 「30名は多すぎる」「他市並みにすべきだ」という市民の声がある。市民感情に配慮すべきだと考えるが、見解を問う。

久喜市議会

平成25年2月定例会

議員提出追加議案質疑通告

平成25年3月19日（火）

質疑通告者一覧

【意見第2号 生活保護基準の引下げをしないことを求める意見書】

通告第1号 春山千明 議員 1

○ 通告第1号 春山千明 議員

- (1) 意見書の中で、生活保護受給者以外にも非課税基準、就学援助の基準などに連動し影響があるとありますが、国では対応方針が出されています。問題とするのは間違っていると考えますが、いかがかお伺いします。
- (2) 提案者が考える、現行の生活保護制度の問題点をお伺いします。
- (3) 今回、引き下げを国が決定した背景には何があると考えますか、お伺いします。
- (4) 日本の生活保護給付水準は国際的に見ても高いほうにあります。しかし今まで見直されてきませんでした。デフレ状況にありながらも高止まりしたままの水準ですが、これにより最低賃金との逆転現象が起きてきています。ここに現在の生活保護制度の問題があると考えますが、見解をお伺いします。
- (5) 生活保護に関するさまざまな問題がある中、今この制度を根本的に見直さなければならぬ時だと考えます。以下お伺いします。
 - ア 低所得者の消費実態や年金とのバランス、勤労意欲のかねあい等を考え、生活保護基準を引き下げることが正当だと考えますが、いかがかお伺いします。
 - イ 今回のような改正をしつつ貧困から抜け出せる仕組みを考えていくことが何より大切だと考えますが、いかがかお伺いします。